

研修医用アパート完成

製鉄記念室蘭病院(前田征洋病院長)の「研修医用アパート」が完成した。住環境整備の一環。初期臨床研修医の2019年度の在籍数は過去最高となっており、良質なプライベート空間の提供によつ



このほど完成した製鉄記念室蘭病院の研修医用アパート

て、今後も初期臨床研修医の確保につなげたい考えだ。

今年6月末、同病院の隣接地に完成した。鉄筋コンクリート4階建てで、居室は計20戸。「広めのワンルームタイプ」という。これまででは中島本町の日本製鉄社宅を利用してしたが、築40年以上を迎えた一方で、部屋数も多いため、研修医からは「広過ぎる」などの声もあったという。

同病院は19年度、初期臨床研修医13人が入職。在籍する初期臨床研修医は計20人となり、札幌以外では最高レベルの状態だ。同病院は「初期臨床研修医の確保は、地域医療を継続的に維持する観点からも重要」としており、「住環境整備も初期臨床研修医確保の一環。今後の初期臨床研修医確保につなげたい」としている。

(松岡秀宜)